（様式４ａ号）

患者さんおよび患者さんのご家族の方へ

このたび当院では、以下の臨床研究を、滋賀県立総合病院倫理委員会の承認を受け、かつ病院長の許可のもと実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。
本研究の対象者に該当する可能性がある方やそのご家族の方で、ご質問がある場合、またはこの研究への参加を希望されない場合は、下記の担当者までご連絡ください。なお、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受けるうえで不利益が生じることはございません。

【研究課題名】

初期研修医における PALS （Pediatric Advanced Life Support：小児二次救命処置）法に基づいた ABCD 評価の浸透率と解釈に関する研究

１．研究の意義・目的

救急診療では、ABCD（Airway（気道）、Breathing（呼吸）、Circulation（循環）、Dysfunction（意識））に基づく体系的な初期評価と、B/C の異常を、呼吸不全やショック等の病態として認識することが重要です。当院では初期評価を PALS に準じて教育、実践しています。救急診療における初期評価の方法は救急診療指針改訂第 6 版にも記載はありますが、概念的な説明のみにとどまり、詳細は手順に関する記載はありません。外傷初期診療ガイドラインには詳細な手順に関する記載がありますが、外傷診療に限定されています。一方で PALS は主に内因性の小児を対象としていますが、詳細な手順の記載があり、評価→異常認識→介入→再評価の流れがわかりやすく示してあります。本研究では、初期研修医における PALS 法に基づいた ABCD 評価の浸透率と、救急科ローテーション経験による差を明らかにします。さらに、生理学的異常と病態認識の不一致を評価し、今後の初期研修医に対する救急診療教育の改善につなげることを目的とします。

２．研究方法

滋賀県立総合病院 救急外来に搬入された患者さんを対象とした、単施設の後ろ向き観察研究です。研究対象期間中に当院救急外来を受診した患者さんのうち、あらかじめ定めた選択基準を

満たし、除外基準に該当しない症例を電子診療録から抽出し、研究対象として登録します。本研究における解析単位は、原則として、初期研修医による 1 診療記録とします。同一患者について 1 年目および 2 年目研修医の双方が診療録を記載している場合は、それぞれを 1 記録として評価します。

３．対象となる方

2025 年 7 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までの間、夜間・休日に滋賀県立総合病院 救急外来に救急車で搬入され、結果的に HCU/ICU に入室した患者さんを対象とします。

４．利用する資料・情報

本研究では、研究対象期間中に当院救急外来を受診した患者さんのうち、あらかじめ定めた選択基準を満たし、除外基準に該当しない症例を電子診療録から抽出し、研究対象として登録します。以下の資料・情報を利用します。

・患者背景（年齢、性別、原因など）

・初診時バイタルサイン（呼吸回数、酸素飽和度、血圧、心拍数、意識状態（GCS）、体温など）

・ABCD 評価の記載内容

・B/C の異常およびその病態認識の記載

５．研究期間

倫理委員会承認日から 2 年間（予定）

６．個人情報の取扱い

研究データは研究用 ID を付与して管理し、氏名等の直接識別子は研究データから分離します。研究用 ID と個人情報を対応させる対応表は研究代表者が施錠管理し、電子データはパスワード保護された院内端末で管理します。研究成果の公表に際して、個人が特定される情報は使用しません。

７．費用および謝金等

なし

８．お問い合わせ先

滋賀県立総合病院　救急科・小児救急科
担当：研究代表者　長友　美佳
TEL：077-582-5031（代表）

連絡可能な時間帯：平日９時３０分～１６時
内線番号：6915